

一般会計予算決算常任委員会記録

令和5年3月9日

【開催日】 令和5年3月9日（木）

【開催場所】 議場

【開会・散会時間】 午後1時～午後1時52分

【出席委員】

委員長	中村博行	副委員長	長谷川知司
委員	伊場勇	委員	大井淳一郎
委員	岡山明	委員	奥良秀
委員	笹木慶之	委員	白井健一郎
委員	恒松恵子	委員	中岡英二
委員	中島好人	委員	福田勝政
委員	藤岡修美	委員	古豊和恵
委員	前田浩司	委員	松尾数則
委員	宮本政志	委員	森山喜久
委員	山田伸幸	委員	吉永美子

【欠席委員】

委員	矢田松夫		
----	------	--	--

【委員外出席議員等】

議長	高松秀樹		
----	------	--	--

【執行部出席者】

副市長	古川博三	教育長	長谷川裕
総務部長	川地諭	企画部長	和西禎行
市民部長	川崎浩美	福祉部長	吉岡忠司
経済部長	辻村征宏	建設部長	大谷剛士
教育部長	藤山雅之	財政課長	山本玄
財政課主幹	別府隆行		

【事務局出席者】

局長	河口修司	局次長	島津克則
主査兼議事係長	中村潤之介		

【付議事項】

1 議案第2号 令和4年度山陽小野田市一般会計補正予算(第9回)について

午後1時 開会

中村博行委員長 ただいまから一般会計予算決算常任委員会を開会いたします。

本日の審査日程は、お手元に配布してありますとおり進めてまいります。それでは議案第2号令和4年度山陽小野田市一般会計補正予算(第9回)について、各分科会での審査が終了しましたので、分科会長の報告を求めます。最初に総務文教分科会からお願いします。

(長谷川知司総務文教分科会長 登壇)

長谷川知司総務文教分科会長 議案第2号令和4年度山陽小野田市一般会計補正予算(第9回)の総務文教常任委員会が所管する部分について報告します。今回の補正の主なものは、LABVプロジェクト推進事業、国県支出金の精算に伴う償還金等や決算を見込んだ調整です。歳入について、6款法人事業税交付金の法人事業税交付金は、3,500万円の決算見込みに伴う増額です。7款地方消費税交付金の地方消費税交付金は、8,500万円の決算見込みに伴う増額です。11款地方交付税の普通交付税は、1億1,156万3,000円の追加交付に伴う増額です。19款繰入金の財政調整基金繰入金は、3億7,020万9,000円の減額で、令和4年度末の予算上残高は43億4,387万3,000円となります。主な質疑として、「県税交付金である法人事業税交付金の決算見込みが増えた要因は」との質問に「近年の好調な企業実績によるもの」との答弁がありました。次に、歳出の人件費全体として、総務費 職員手当等1,006万円の減額は、正規職員の退職予定者数の変更や3年間勤務した会計年度任用職員のうち、退職あるいはフルタイムからパートタイムになる約45名の退職手当を見込んだものです。教育費 職員手当等416万8,000円の増額は、3年間勤務した会計年度任用職員のうち、退職あるいはフルタイムからパートタイムになる約19名

の退職手当を見込んだものです。主な質疑として、「必要な正規職員数を確保した上で、会計年度任用職員数を調整しているのか」との質問に「ヒアリング等を行い、各部署に必要な職員数を確保し、業務を補助する会計年度任用職員を雇用している」との答弁がありました。2款総務費1項1目積立金500万円の増額は、寄附金を庁舎建設整備基金に積み立てるものです。1項4目情報管理費2,042万円の減額は、行政手続のオンライン化事業において、導入するシステムの運用開始の変更に伴い、不要となった保守委託料の減額などによるものです。1項9目企画費6,754万円の増額は、旧商工センター跡地の古洞対策工事に要する費用です。1項10目地域振興費6,392万5,000円の減額は、地域おこし協力隊の今年度中の着任が見込めなくなったことによる活動経費の減額などによるものです。7項1目大学費2,545万9,000円の減額は、駐車場・テニスコート整備の設計費の支払いが令和5年度に行われることになったことなどによるものです。主な質疑として、「旧商工センター跡地の古洞対策は市の負担と考えると良いか」との質問に「市が負担すべきである」との答弁、「大学費の不動産鑑定評価委託料の減額が大きい理由は」との質問に「3社から参考見積りを取り、余裕を持った予算を計上したため」との答弁、「地域おこし協力隊の着任実績は」との質問に「令和2年2月に着任し、令和2年7月に退任した1名のみである」との答弁、「地域おこし協力隊の実績が上がっていない原因は」との質問に「市の思いが伝わらず応募がうまくいっていないため、着任者がいない。応募者の要望と受入れ地域の特性をしっかりとマッチングさせて進める必要がある」との答弁、「サポート寄附の外部連携寄附はどのようなものか」との質問に「外部連携寄附については、依頼したサイトとは別サイトに同じ情報を掲載している」との答弁がありました。次に、7款商工費1項4目観光宣伝費117万4,000円の減額は、山口ゆめ回廊圏域住民周遊促進事業を実施した結果、市がきららガラス未来館の指定管理者に対する負担金に不用額が生じたことによるものです。主な質疑として、「7市町の山口ゆめ回廊圏域住民周遊促進事業の利用者全体の集計表から、本市のガラス体験が2番目に多いが、今後も継続する

のか」との質問に「本市のガラス文化を広めて行けるよう、引き続き取り組みたい」との答弁がありました。次に、9款消防費1項消防費858万2,000円の減額は、消防団員定数485名に対し、現団員数が394名による報酬の減額などによるものです。主な質疑として、「消防団員の不足状況は、地域に偏りはないか」との質問に「小野田地区の中部が減少傾向で、その他は均等に不足している」との答弁がありました。次に、10款教育費2項小学校費2,349万8,000円の減額は、埴生小学校スクールバスの運行業務委託料の落札減、高千帆小学校校舎整備事業の工事費の確定などによるものです。3項中学校費1,654万4,000円の減額は、厚狭中学校教室棟トイレ改修工事、厚狭中学校配膳室通路補修事業、学校和式トイレ洋式化事業の落札減などによるものです。6項保健体育費2,989万4,000円の減額は、給食予定提供日数の減を見込んだ賄材料費の減額などによるものです。主な質疑として、「学校給食費滞納者に就学援助受給者はいるのか」との質問に「今年度の滞納者176名のうち108名が就学援助受給者である」との答弁、「就学援助受給者の滞納を減らせないのか」との質問に「早い時期に公正公平な負担となるように努めたい」との答弁がありました。次に、繰越明許費のスクールバス安全装置導入事業の30万円は、送迎用バスの安全装置導入支援について、今年度中の事業完了が見込めないためです。これは、園児や幼児の置き去りという問題があったことに伴うものです。次に、債務負担行為補正の統合型校務支援システム導入事業は、令和4年度に契約締結に至る見込みがなくなったため、廃止するものです。次に、地方債補正の小学校施設改修事業債は、限度額1,250万円を1,380万円に増額するものです。以上で報告を終わります。

(長谷川知司総務文教分科会長 降壇)

中村博行委員長 総務文教分科会の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。それでは質疑を3ページ目の9款消防費の前まで区切りたいと思います。9款消防費の前までで質疑はございますか。

山田伸幸委員 1 ページの人件費全体というところの退職手当の件で、退職あるいはフルタイムからパートタイムになる45名の退職手当とあるんですが、フルタイムからパートタイムに切り替える際も退職手当が支給されるということによろしいのでしょうか。

長谷川知司総務文教分科会長 そのとおりです。

山田伸幸委員 フルタイムも制度の問題もあって、なかなかそのまま残るのは難しいんですが、今後は、フルタイムという会計年度任用職員の身分はなくなるのでしょうか。

長谷川知司総務文教分科会長 フルタイムでの会計年度任用職員の身分もあります。

山田伸幸委員 2 ページの企画費、商工センターの古洞対策工事の件です。これは全額市が行うとあるんですけど、こういうのが今後も出てくるんじゃないかなと思うんですが、市が負担するようなものは、これで終わりののかどうなのか、その点はいかがでしょうか。

長谷川知司総務文教分科会長 市が出資するものは土地だけと聞いておりますので、これが最後とっておりますが、確実なことは言えません。

中村博行委員長 ほかにございますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、消防費から最後まで質疑をお願いします。

奥良秀委員 スクールバス安全装置導入事業の30万円ですが、これはどちらのバスでしょうか。どこで使われているバスでしょうか。

長谷川知司総務文教分科会長 松原分校と埴生小・中学校です。

奥良秀委員 であるならば、先ほど会長が最後に幼児というような言葉を言われたんですが、そういった子供はいないと思うんです。いかがですか。

長谷川知司総務文教分科会長 たしかに、該当する車両にはいませんが、今までの事故で幼児というのがあったんで、参考にそういうことを言ったままでです。

中島好人委員 教育費の学校給食の件です。この件については、学校給食の無償化がどんどん増えているということで質問した際に、就学援助で対応するという執行部の答弁だったんですけども、これを見ますと、この対応にならないわけです。こうした実態を受けて、委員会では、学校給食の無償化うんぬんというような質疑等がありましたでしょうか。

長谷川知司総務文教分科会長 今回、無償化については、質疑はありませんでした。

中村博行委員長 ほかにはよろしいですか。（「なし」と呼ぶ者あり）次に、民生福祉分科会長の会の報告を求めます。

（松尾数則民生福祉分科会長 登壇）

松尾数則民生福祉分科会長 議案第2号令和4年度山陽小野田市一般会計補正予算（第9回）の民生福祉常任委員会が所管する部分について報告します。今回の補正は、国県支出金の精算に伴う償還金等の取り急ぎ措置すべき案件、決算を見込んだ事業費の精算等の取り急ぎ措置すべき案件についての補正です。2款総務費1項13目空家対策費2,193万1,000円の減額は、空家等実態調査に係る入札減、特定空家等の略式代執行に伴う建物の解体撤去工事に係る費用の減額などによるものです。1項17目国際交流等推進費322万6,000円の減額は、新型

コロナウイルス感染の状況を鑑み、中学生海外派遣事業を中止したことによるものです。1項20目自治会活動推進費510万円の減額は、防犯外灯設置補助金、防犯カメラ設置補助金の申請件数が見込みを下回ったことなどによるものです。主な質疑として、「略式代執行に係る工事費用が大きく減額した理由は、解体費用を多く見積もりすぎたためか」との質問に「建物に大量のアスベストが含まれている可能性があったので、難解な工事になると考えて予算を計上したが、実際に含まれていたアスベストはわずかであったため、大きく減額となった」との答弁、「中学生海外派遣事業について、オンラインで実施することは考えなかったのか」との質問に「現在、オンラインでの国際交流の実施に向けて調整している。令和5年3月にサビエル高校の学生を対象にして行う予定である」との答弁、「防犯カメラ設置補助金について、撮影対象区域の住民等の承諾を得ることは困難である。今後、この要件の見直しは可能か」との質問に「プライバシー保護の観点から、申請の際には周辺住民の同意、自治会の合意等が必要である」との答弁がありました。次に、3款民生費1項9目新型コロナウイルス対策費6,822万8,000円の減額は、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付の給付件数が見込みを下回ったことなどによるものです。3項2目19節扶助費2,500万円の減額は、生活保護受給者数の減少によるものです。主な質疑として、「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の支給件数の見込みと実績は、それぞれ何件か」との質問に「1,200件を見込んでいたが、実際には685件に支給した」との答弁、「なぜ生活保護受給者が減少しているのか」との質問に「主な原因は、死亡によるものや就労支援等による収入の増加によるものである」との答弁がありました。4款衛生費1項2目予防費1億690万5,000円の減額は、予防接種委託料及び子宮頸がんキャッチアップ接種助成金の支給件数が見込みを下回ったことによるものです。1項7目検査委託料1,219万8,000円の減額は、新型コロナウイルスの感染状況が一旦落ち着いたことや全数届出の見直し等により、地域外来・検査センターへの検査依頼数が減少したことによるものです。主な質疑として、「子宮頸がんワクチン接種者の当初見込

みと実績見込みは、それぞれ何人か」との質問に「当初見込みは、定期接種は2,472人、キャッチアップ接種は2,829人で、実績見込みは、定期接種は580人、キャッチアップ接種は517人である」との答弁、「地域外来・検査センターは今後も継続するのか」との質問に「県からは、今のところ現行どおり継続して実施すると聞いている。」との答弁がありました。次に、繰越明許費の文化会館老朽化調査及び中長期整備計画策定業務の3,410万円は、今後30年にわたる文化会館改修に係る重要な整備計画であることに鑑み、計画の策定に不測の日数を要しているためとのことでした。主な質疑として、「もともと今年度中の完成を考えていなかったのか」との質問に「今年度中の策定を目標にしていたが、老朽化調査に時間を要したため、引き続き時間を要することとなった。」との答弁がありました。小野田地区保育所整備事業の911万9,000円は、令和5年2月28日までを契約期間としていたが、設計案に修正が生じ、成果品の提出が令和5年7月頃になるためとのことでした。主な質疑として、「設計案の修正は、具体的にどのような内容なのか」との質問に「敷地に対しての園舎の形状等である。今後50年近く利用する建物であり、考え得るベストの方策で建設したい」との答弁がありました。新型コロナウイルスワクチン接種事業の3,535万3,000円は、令和4年度に実施した接種費用等の支払等を想定して、それらの費用について繰り越すものです。主な質疑として、「現在のワクチン接種状況はどうなっているか」との質問に「令和5年2月23日時点での対象年齢人口に対する接種率は、1回目は83.91%、2回目は83.64%、3回目は70.37%、4回目は55.75%、5回目は32.66%である」との答弁がありました。以上で報告を終わります。

(松尾数則民生福祉分科会長 降壇)

中村博行委員長 民生福祉分科会の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。全体で質疑を求めますが、質疑の場所を指摘し、質疑してください。それでは、質疑はございませんか。(「なし」と呼ぶ者あり) 質

疑なしと認めます。次に、産業建設分科会の報告を求めます。

(藤岡修美産業建設分科会長 登壇)

藤岡修美産業建設分科会長 議案第2号令和4年度山陽小野田市一般会計補正予算(第9回)の産業建設常任委員会が所管する部分について報告します。今回の補正は、決算を見込んだ事業費の精算等の取り急ぎ措置すべき案件についての補正です。まず、6款農林水産業費1項1目委員報酬839万4,000円の減額は、農地利用最適化活動交付金事業の成果実績に基づき能率給を減額するものです。1項3目農地集積補助金483万2,000円の増額は、埴生干拓における農地の集積協力金や集約化奨励金の不足分を増額するものです。1項4目多面的機能支払制度補助金478万円の減額は、交付金の内示割れによるものです。1項5目県事業負担金1,195万4,000円の減額は、事業内容の変更や落札減などによるものです。3項3目工事請負費1,999万9,000円の減額は、埴生漁港改修工事の当初予算の内示割れによるものです。主な質疑として、「今年度の報告書の作成に農業委員がタブレットを使用したのか」との質問に「タブレットの使用は来年度からになる」との答弁、「農業委員の活動日数に差があるが、最低活動日数は決まっているか」との質問に「活動日数の目標を10日としており、達成すると評価が良くなり、13日を超えると評価が更に良くなる」との答弁がありました。次に、7款商工費1項1目地方バス路線維持費補助金525万9,000円の増額は、運航実績を踏まえ当初予算との差額を増額するものです。1項2目用地取得奨励金5,687万9,000円の減額は、小野田・楠企業団地に進出した企業の操業が工事着工遅れにより令和5年4月に延期されたため、操業開始後6か月経過後に用地取得金額の40%を交付する当該奨励金を減額するものです。主な質疑として、「昨年度はコロナ禍を踏まえ地方バス路線維持費補助金の国の負担分が増額になったが、今年度はどうか」との質問に「国が検討しているが、現時点では補助金額は確定していない」との答弁、「中小企業融資貸付金の見込みと実績は」

との質問に「例年30件程度を見込んでいるが、今年度は現在18件である」との答弁がありました。次に、8款土木費1項1目県事業負担金866万円の減額は、県事業の精算に合わせて減額するものです。2項1目委託料900万円の減額は、道路台帳修正箇所更新の精算に合わせて減額するものです。2項4目委託料670万4,000円の減額、工事請負費1,807万2,000円の減額、公有財産購入費1,344万円の減額は、国費の交付率に応じた事業費の調整によるものです。5項1目県事業負担金1,380万円の減額は、都市計画道路新開作二軒屋線の拡幅工事に伴う物件移転について、関係者との調整に時間を要したため実施できなかったことによるものです。5項2目工事請負費478万2,000円の減額は、江汐公園ほか4か所の工事の落札減によるものです。6項1目工事請負費2,698万8,000円の減額は、古開作第二団地改修工事や荻原団地及び平原団地の解体工事の落札減によるものです。主な質疑として、「ハザードマップの配布時期は」との質問に「4月1日号の広報と一緒に配布する予定である」との答弁がありました。次に、11款災害復旧費2項1目工事請負費1億990万円の減額は、工法の見直しによる事業費の精査や落札減によるものです。3項1目工事請負費1,736万2,000円の減額は、国の査定結果や落札減によるものです。次に、繰越明許費の駅舎バリアフリー化整備事業7,310万8,000円に対する主な質疑として、「いつ頃完了予定か」との質問に「エレベーターは来年3月末までに、多機能トイレは今年3月中を予定している」との答弁がありました。小野田・楠企業団地インフラ等整備事業2,525万2,000円に対する主な質疑として、「防火水槽設置工事の際に、なぜ汚水ますの移設が必要となったのか」との質問に「採掘した結果、汚水ますに接続している汚水管があり、ともに移設することとなったため」との答弁がありました。次に、債務負担行為補正の漁業近代化資金利子補給金は、令和5年度から令和14年度までで限度額9万6,000円です。次に、地方債補正の海岸保全施設整備事業債は、限度額4,940万円を5,700万円に増額するものです。以上で報告を終わります。

(藤岡修美産業建設分科会長 降壇)

中村博行委員長 産業建設分科会の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑は全体から求めます。

山田伸幸委員 最初の農林水産業費のところでは二つ交付金の内示割れというのと、当初予算の内示割れというのがあります。内示割れというのを初めて聞いたんですが、これはどういったものなのか。そして、この内示割れによって、事業の進行に影響が出たのかどうなのか、その点いかがでしょうか。

藤岡修美産業建設分科会長 内示割れというのは、市から国や県に対して補助金申請をして、それに対して満額の補助金がつかなかったことを指しております。当然、内示割れが起これば、事業の進捗は遅れます。

山田伸幸委員 7款商工費の小野田・楠企業団地のことで、工事着工の遅れ、令和5年4月に延期されたとなっていて、その用地取得金額に40%に当たる奨励金を減額するということなんですが、これは本当に着工の見込みあるんでしょうか。

藤岡修美産業建設分科会長 特にその辺りの審査はありませんでした。

山田伸幸委員 地方バス路線の件なんですけれど、質疑の中で地方バス路線維持費補助金の国の負担分が増加になったとあります。私の知っている限りでは、これは、地方交付税措置をされて、大体事業費の8割が交付税措置されると思っていたんですが、増額となっていたのなら、どの程度の増額だったのか、お答えください。

藤岡修美産業建設分科会長 昨年度は、コロナ禍の関係で国が特例措置として、

補助金の割増しをしたと。その額については審査しておりません。

吉永美子委員 予算額なので、きちんとしないといけないかなと思って申し上げますが、6款の農林水産業費1項1目の委員報酬は、824万3,000円の間違いいではないでしょうか。いかがでしょうか。

藤岡修美産業建設分科会長 吉永委員の指摘のとおり、委員報酬費としては800人、24万3,000円の減額で、農業委員会費として、その他もろもろ含めて839万4,000円です。表現としては、委員報酬の金額が824万3,000円で正しいということです。

白井健一郎委員 2ページ目の最下段のところなんですけど、繰越明許費のところの駅舎バリアフリー化整備事業とありますが、これは市が全額負担しているのでしょうか。具体的にはJRとか、国、県の分担金というのは、例えば何対何対何ぐらいと考えればよろしいのでしょうか。事業の全体像について知りたいんです。

藤岡修美産業建設分科会長 事業としては、JRがやる事業でありまして、市としては、負担金という形で、市の負担分を支出するということです。

中村博行委員長 よろしいですか。ほかにございますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、質疑を終わります。討論に入る前に、執行部の出席を求めますので、ここで若干の休憩を挟み、1時50分から再開します。定刻までに御参集をお願いいたします。それでは休憩します。

午後1時40分 休憩

午後1時50分 再開

中村博行委員長 委員会を再開します。それでは議案第2号、令和4年度山陽小野田市一般会計補正予算（第9回）についての討論を行います。討論はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）討論なしと認めます。これより、議案第2号について、採決いたします。本件に賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

中村博行委員長 全員賛成により、本件は可決すべきものと決定しました。以上で委員会を散会いたします。お疲れ様でした。

午後1時52分 散会

令和5年（2023年）3月9日

一般会計予算決算常任委員長 中 村 博 行